

きこち。

Yamane_mokuzai quarterly magazine 'Kicocchi' 2019 / Summer



特集

湖畔で過ごす
夏の休日

家は、風土。

ー木と暮らす。ー

実例
10

特集 湖畔で過ごす

夏の休日

林に囲まれた湖のほとり。
周囲の環境とひとつになりたくて、
夏の休日は湖畔を散歩し、
2人で料理をしてワインを飲む。
鳥のモチーフを取り入れた別荘で
日常から離れた夫婦2人の時間。
ここでたくさん笑って、体を動かして、
明日からまた頑張れる。

Feature!

Lakeside

vacation

cottage

kicocochi.



「ここは好きな時間に、好きなことをするための場所」と奥様。散歩、庭仕事、料理、読書と、気ままに過ごす

ご夫婦にとってこの別荘はプライベートな場所。仕事関係のゲストやスタッフを招くことはないという。設計もインテリアも、過ごし方も自由気まま。食べたいものを食べたい時間に作って食べ、眠りたいときに眠り、植えた



2階からでも家族の気配が感じられる吹き抜け

木を植え、休みたいときにはハンモックに揺られる。そうしてウィークデーのための英気を養うのだ。「今年の夏の楽しみは、帰省した孫たちとの流しそうめんかな」とご主人。夏が待ち遠しいようだ。



Stairwell and hammock

バス・トイレ以外には仕切りがない。それによって家全体に開放感がある



Kitchen

キッチンの建具は造作によるもの。キッチンツールは出張先のアメリカでそろえた

ウィークデーへの
活力のために。
ここで楽しむ非日常



長い間、2人で会社を営んでいるというご夫婦。平日は国内外への出張や接待も多い多忙な毎日。「休日くらいは仕事を忘れたい」との思いで、10年前に建てたのがこの別荘だ。
場所は聖湖^{ひしこ}のほとり。設計は奥様のアイデアで、出張でよく訪れるアメリカの別荘をイメージした。どこに居ても家族の気配が伝わる吹き抜けがあり、窓から緑を見渡せる静かな空間。風の音がつくる清涼感が辺りを包み込む。



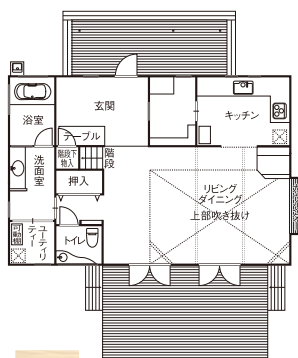
無垢の床もいいあめ色に。経年変化を楽しんでいる

身も心も
自然に解き放てば
笑顔になれる

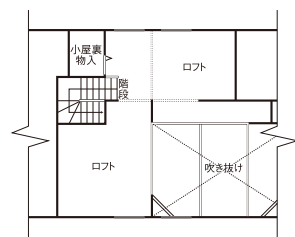


Exterior

周囲の林になじませたいからと、外壁は無塗装。白い窓枠と煙突がアクセント



1F



2F



ご主人は料理や音楽が好きなインドア派。一方、小柄な奥様は薪割りや庭仕事が好きでアウトドア派という意外な一面も。仕事も家庭も、長い時間をずっと一緒に過ごしてきたご夫婦。「こうして好きな時間を過ごせるこの家があるから、仲良くやってられたんだと思います」と顔を見合わせる。

自然の中になじみながら味わい深く経年変化していくこの別荘は、このご夫婦のあり方そのものようだ。